

# 地域未来創造委員会事業計画

地域未来創造委員会 委員長 鳴井 大輔

県東地域では、里山の自然や観光資源、農産物や工業団地など魅力が多く存在します。同時に、財政力指数の格差、少子高齢化の加速率、1市4町の生活実態や地域課題には差が生じているのが現状です。生産年齢人口の減少により、まちを支え盛り上げていく世代が減少している今こそ、魅力ある地域を形成していくには、良い点や改善すべき点などの現状を見極め、解決へ導く力を持ち、先頭に立ってまちづくりを進めていける人材の育成が必要です。

まず、メンバーが地域の差を知り、まちづくりの担い手としての意義を自覚するために、県東地域で活躍する同世代が行っている活動事例を学び、自分の行っている活動と自分自身の地域での存在価値を比較し、理想像と創造性の大切さを考える人財にします。そして、まちづくりに欠かせない、仲間の大切さを再確認するために、メンバー及び1市4町の各団体に協力をいただきチームをつくり、計画作成や事業選定などの地域事業を創造することの楽しさや難しさを共に経験する機会を提供し、他者や他団体との連携力を高めます。さらに、一人ひとりの実現力を向上させるために、選定された事業内容に具体性を持たせて磨きをかけ、実現可能な計画へと改良する段取りを行うことで、問題解決能力をより高めます。また、地域にまちづくりの大切さを伝えるために、県東地域に寄り添った事業を実施し、住民参加のまちづくりを進めます。そして、メンバーが実践者となるために、全員で創りあげた事業を成功させ、まちづくりはひとつづくりであることを強く実感し、熱い思いと実行力を兼ね備えた地域に求められる人財となることを実現します。

まちを守り良くする。この想いを胸に刻み、メンバーが身に付けてきた力を最大限に発揮し、時世を鑑みながら自ら進んで地域と真剣に向き合い、先頭に立って地域の存続と発展のために行動をする人財となり、地域に必要とされ続ける LOM を実現します。

## <事業計画>

1. 地域の未来を創造する地域人財の育成
2. 次代へより良い地域をプレゼントする運動の実施
3. 事業で魅せる会員拡大
4. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力
5. 関東地区栃木大会の成功に向けて協力